

新規・拡充事業について

桜の花びらが風に舞う、4月19日に第166回障害者地域生活支援研究会が開催されました。今回のテーマは「～平成24年度 障害福祉制度～ 新規・拡充事業について」です。

最初に北九州市保健福祉局 障害福祉部 障害福祉課長 早崎 寿宏さんから、平成24年度の障害福祉の重点施策と当初予算についてお話いただきました。

本年度はまず、10月からウエルとばたにある障害者地域生活支援センターを障害者基幹相談支援センターとして強化整備すること、また、新たなスポーツ施設として新障害者スポーツセンターalleath（アレアス）を4月22日（日）にオープンする予定としていること。行政の組織も強化されて、障害福祉課に「発達障害担当課」を新たに設置したことで専任課長1名、兼務課長4名を任命したこと。指定管理では継続した支援が受けられないのはどのご家族の意見を尊重して、市立の障害福祉施設の再整備と民間移譲を積極的に進めていくこと。小倉南区春ヶ丘にある総合療育センターの老朽化に伴い、療育センターの再整備計画について。更には精神障害者の方の積極的な社会参加の第一歩を支援するために、通所等で使われる西鉄バスの得パスを半額助成の実施。現在は小倉北区に一店舗しかない障害者自立支援ショップ「1丁目の元気」を黒崎のコムシティに展開していくための助成金の増額など、これまでにないような具体的な目玉事業について報告されました。



特に行政自らが変わろうとされていると思われたことは、障害福祉課に「発達障害担当課」が新たに設置された点です。今まで発達障害の課題については、総合的な支援等が難しい部分がありましたが、「発達障害担当課」が設置されたことにより、発達障害児・者や親御さんなどに対する取り組みそのものが、乳幼児から成人まで一つのラインで繋がり、課題解決に早期に取り組めることが期待されるものです。

北九州市の全体予算の4分の1が保健福祉予算だよ！びっくり！！保健福祉に力を入れているんだね。



続いて、障害福祉課 在宅支援係係長 渡辺 和彦さんから基幹相談支援センターを計画するまでの経過報告を頂きました。

計画確定までには市町村担当者を始めとして、委託している相談支援機関、障害福祉団体や当事者の皆さんから数回にわたり、意見をお聞きしていきながら基幹相談支援センターの計画に至ったとお話でした。他政令市でもまだ具体的に計画が進んでいないところがほとんどである中で、全国的にはまだまだ珍しく、先駆的な取り組みとして、市としても力を入れて取り組んでいきたいと、強い決意で臨んでおられるとのことでした。

これまで、市民はもとより市の担当者が変わると取り組み方が変わっていくため、官・民が本当に協働して計画から実施に向けた取り組みをしていく事が重要であることや参加者からも当研究会の意見を取り入れて頂きながら、今後も二人三脚の姿勢で取り組んでいってほしいとの意見にも、お二人からもまったく同感であり、今後も行政と市民を始めとした障害福祉に携わる関係者相互の協力があって計画が実現するとの心強いお話しが頂けました。また、参加者から基幹相談支援センターはアドボケイターとしての意識もしっかり持つておくことが必要との意見がありました。



障害者基幹相談支援センターの中には『障害者虐待防止センター』も併設されるよ。詳しくは、支援研究会で取り上げる予定だから、ぜひ参加してね♪

4月から事務局の体制も変わり、当研究会の進行は当面事務局で取り組んでいくこととなりました。これまで進行という重責を担って頂いてきた黒岩さんが3月までということで紹介がありました。黒岩さんありがとうございました。

本日の参加者は91名。その内35名の新規の方にご参加いただきました。ありがとうございました。



※こちらの議事録は北九州市障害者自立支援協議会のホームページでもご覧いただけます。

<http://kitakyushu-net.shien-c.com/>

今月からポクとワタシが支援研究会のポイントを紹介するよ。ヨロシクね☆★

